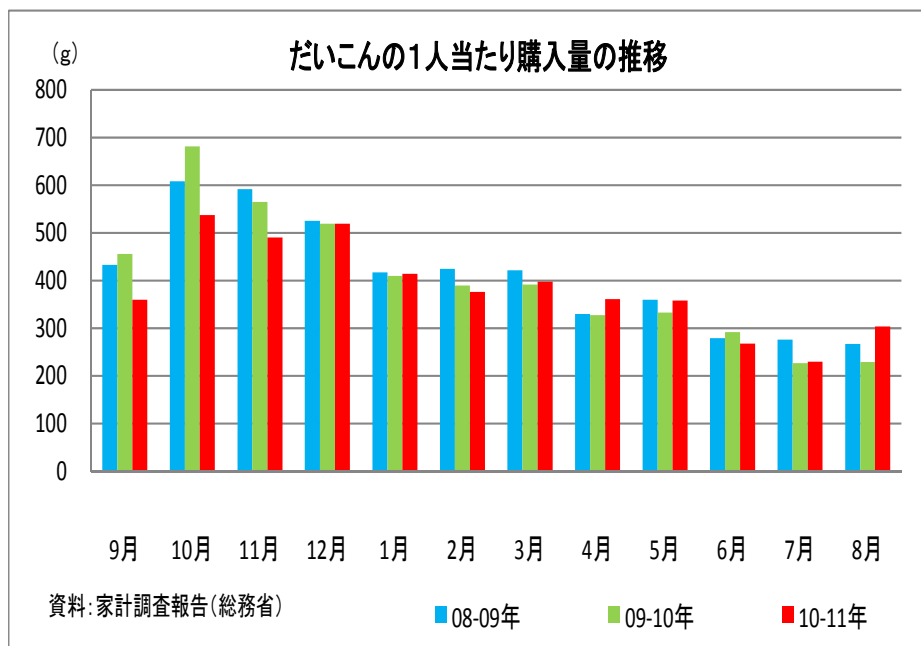
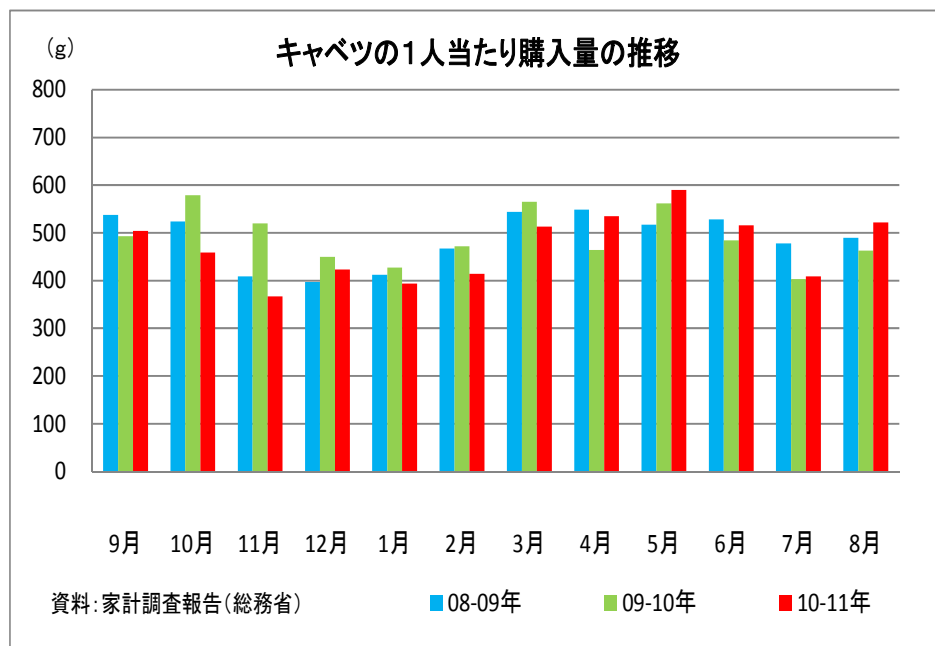
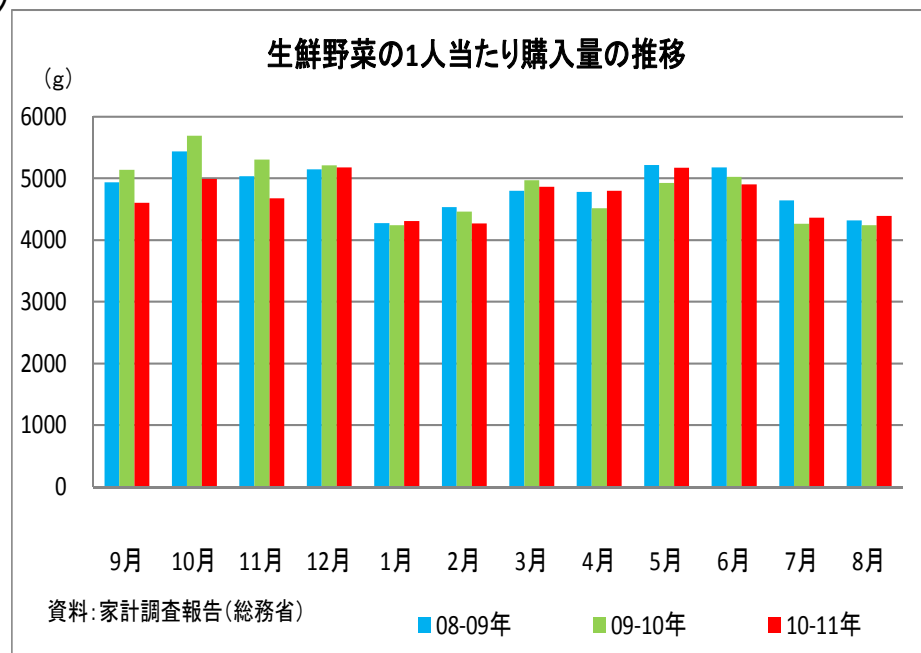


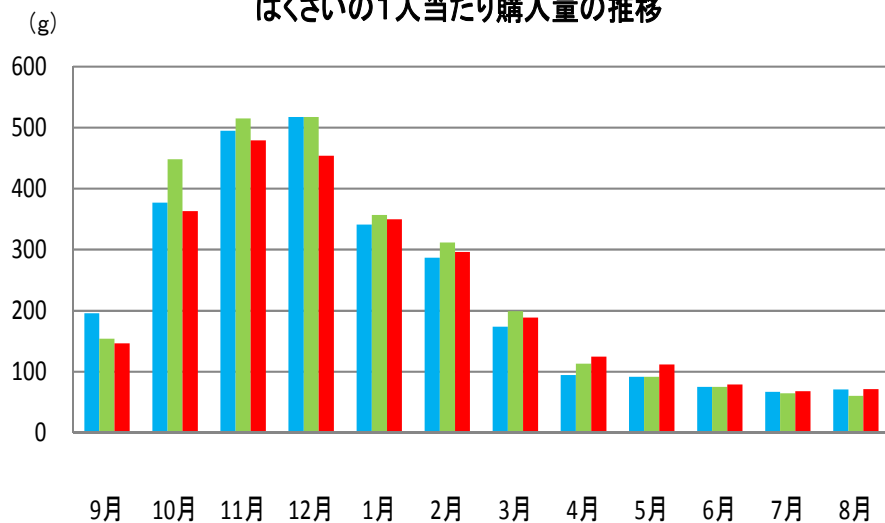
# 野菜の消費関連資料

## ① 1人当たり購入数量の推移(家計調査報告)

- ・ 生鮮野菜全体の購入数量を見ると、猛暑の影響で野菜価格が高水準で推移した昨年9月以降は前年を下回って推移。
- ・ 価格が落ち着きを見せ始めた12月以降は前年並みに回復。
- ・ 2月から3月までは前年を下回ったものの、4月から8月までは6月を除いて前年を上回った。



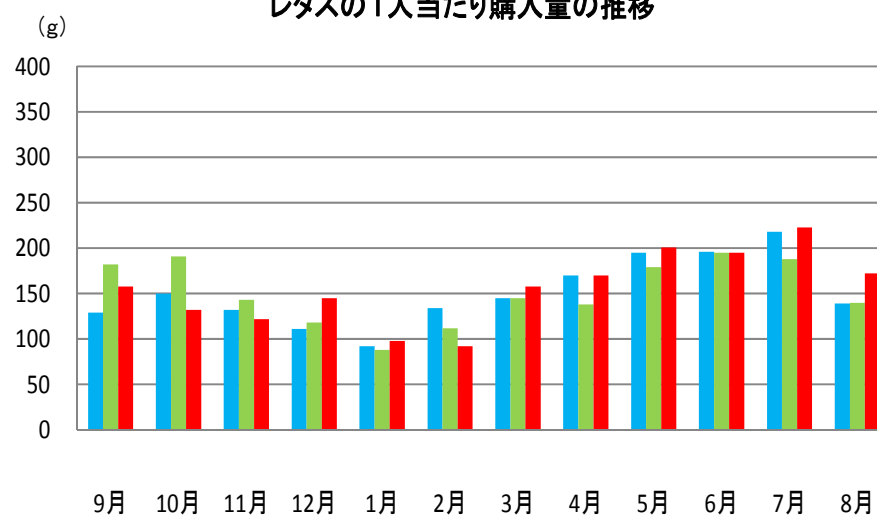
### はくさいの1人当たり購入量の推移



資料: 家計調査報告(総務省)

■ 08-09年 ■ 09-10年 ■ 10-11年

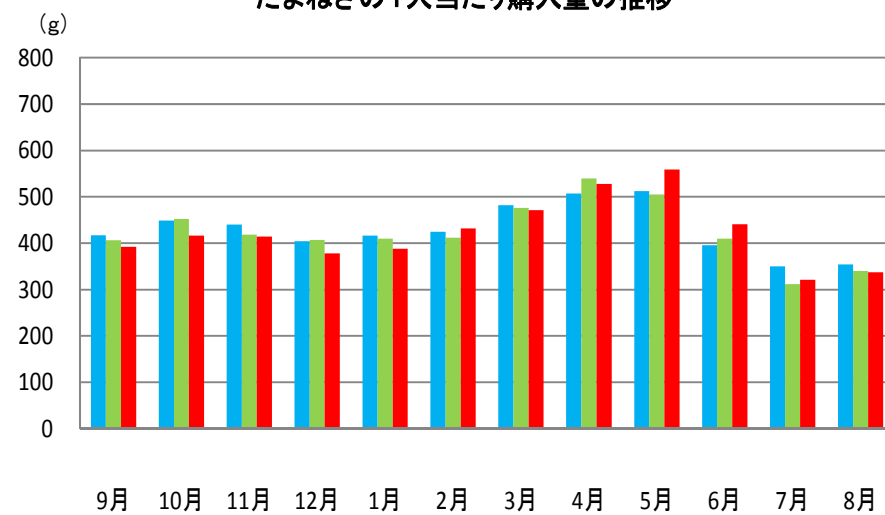
### レタスの1人当たり購入量の推移



資料: 家計調査報告(総務省)

■ 08-09年 ■ 09-10年 ■ 10-11年

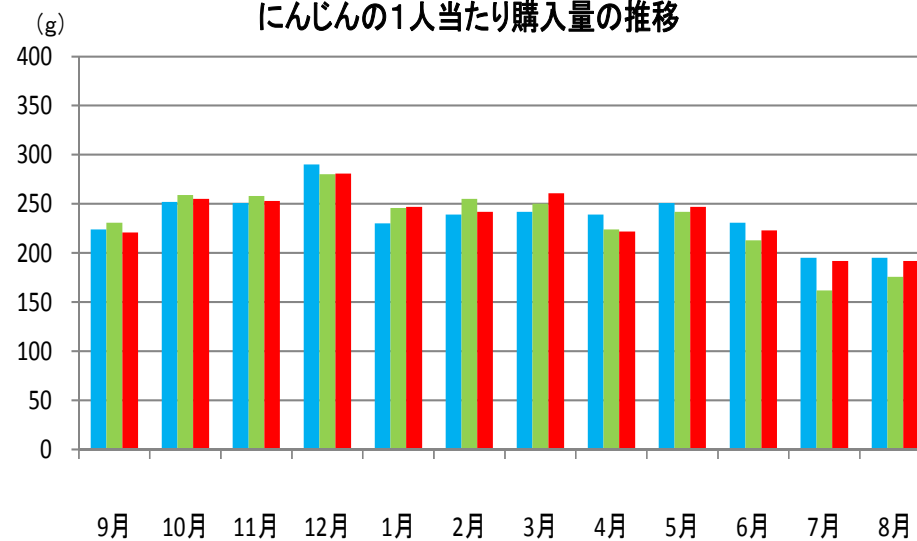
### たまねぎの1人当たり購入量の推移



資料: 家計調査報告(総務省)

■ 08-09年 ■ 09-10年 ■ 10-11年

### にんじんの1人当たり購入量の推移

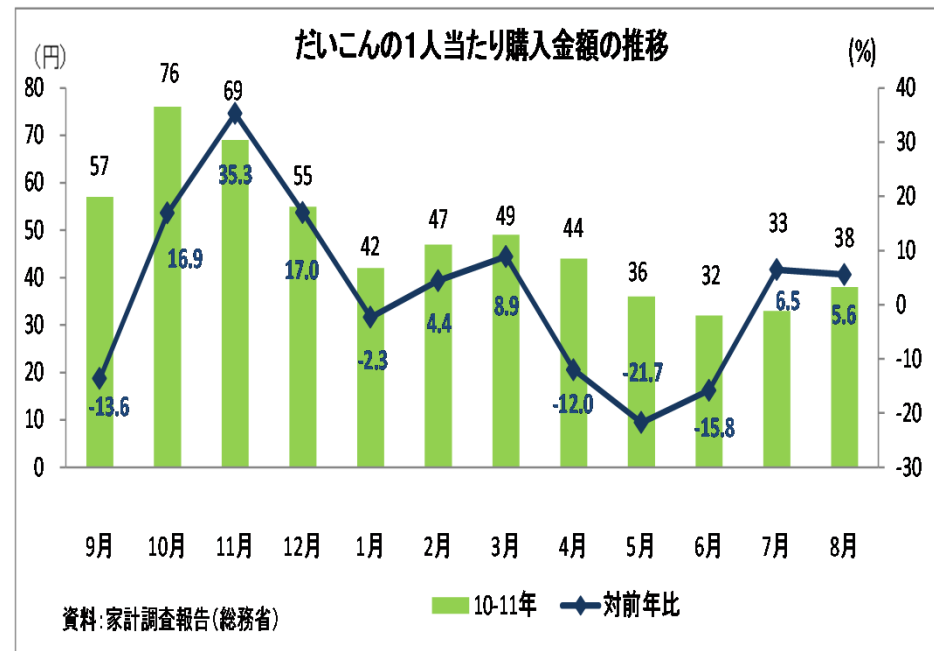
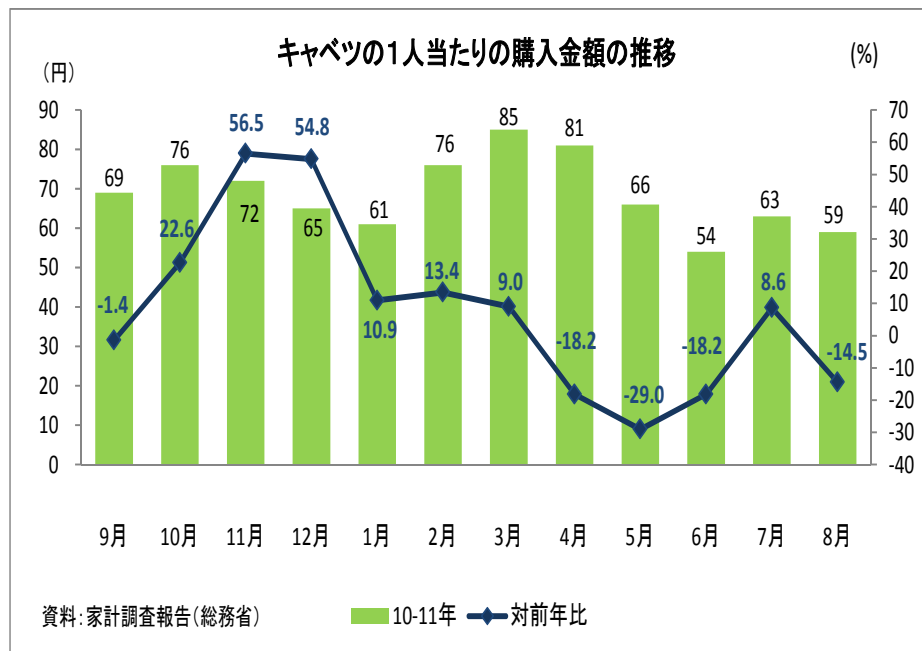
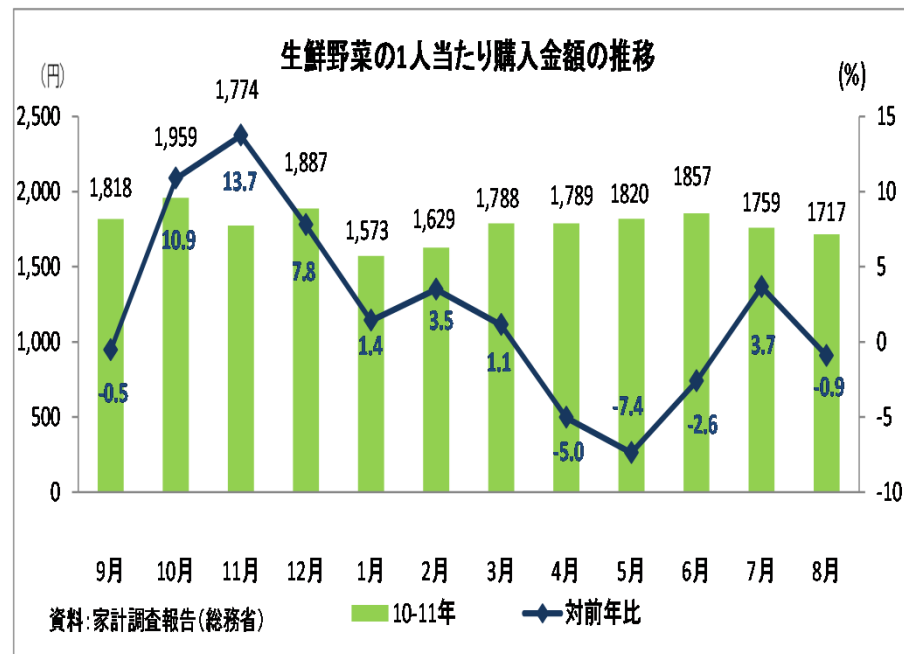


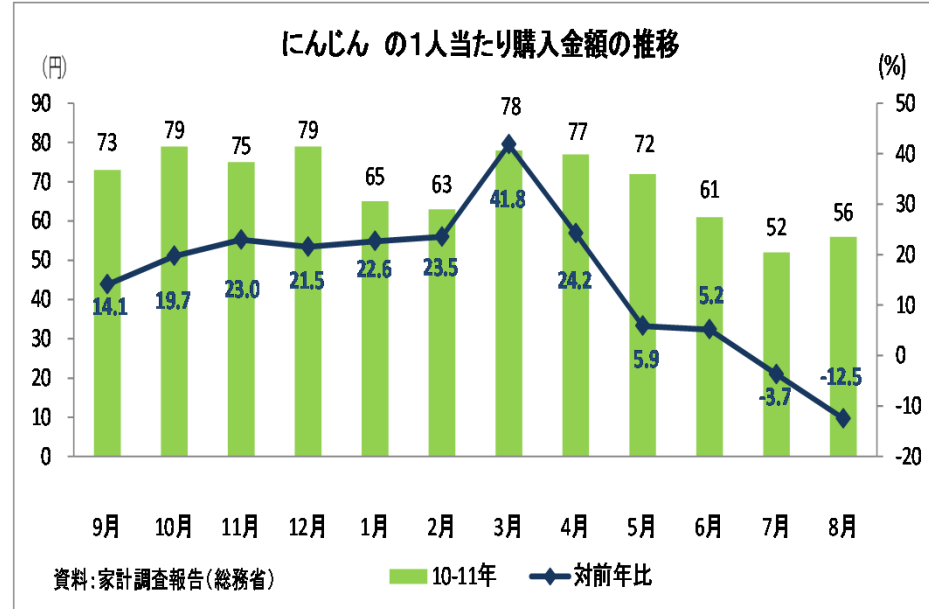
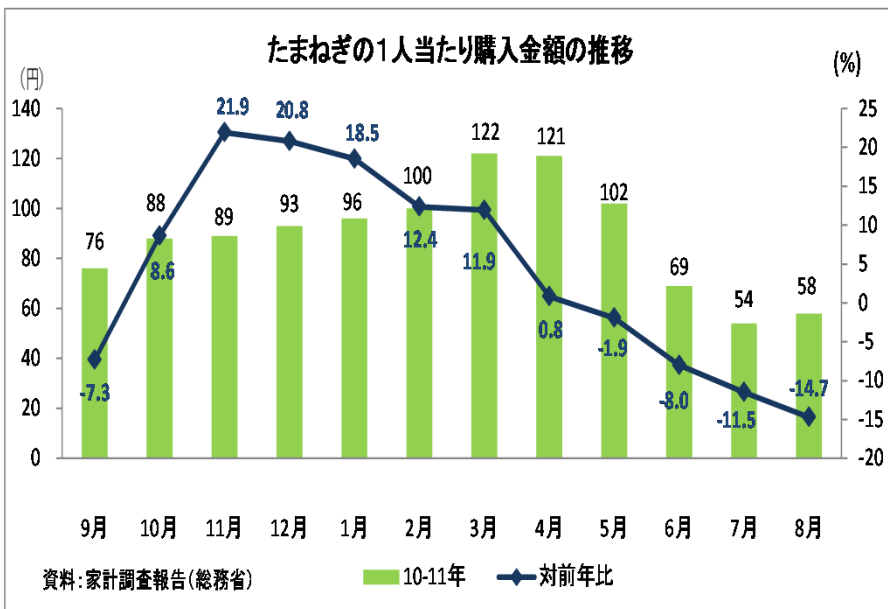
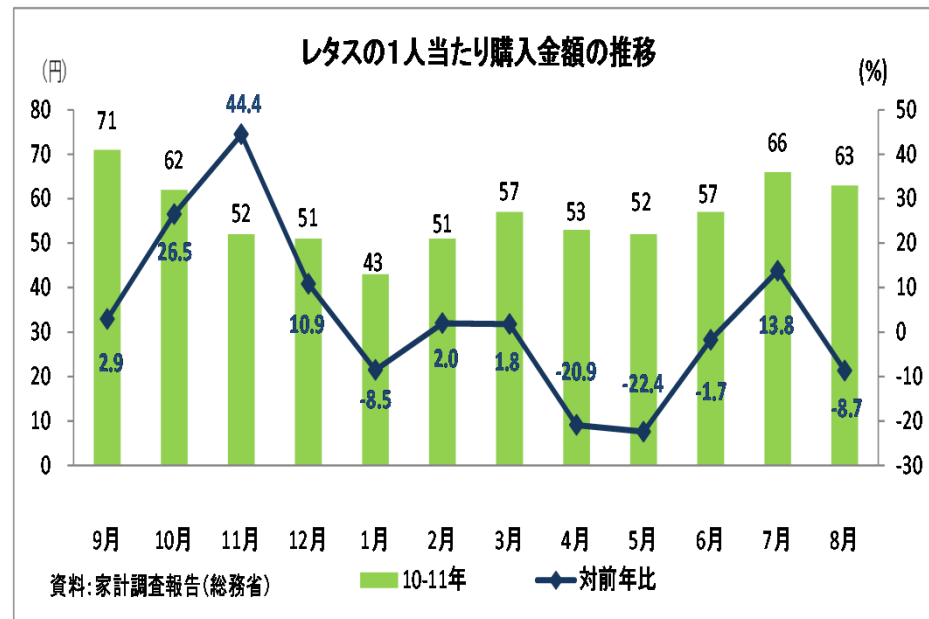
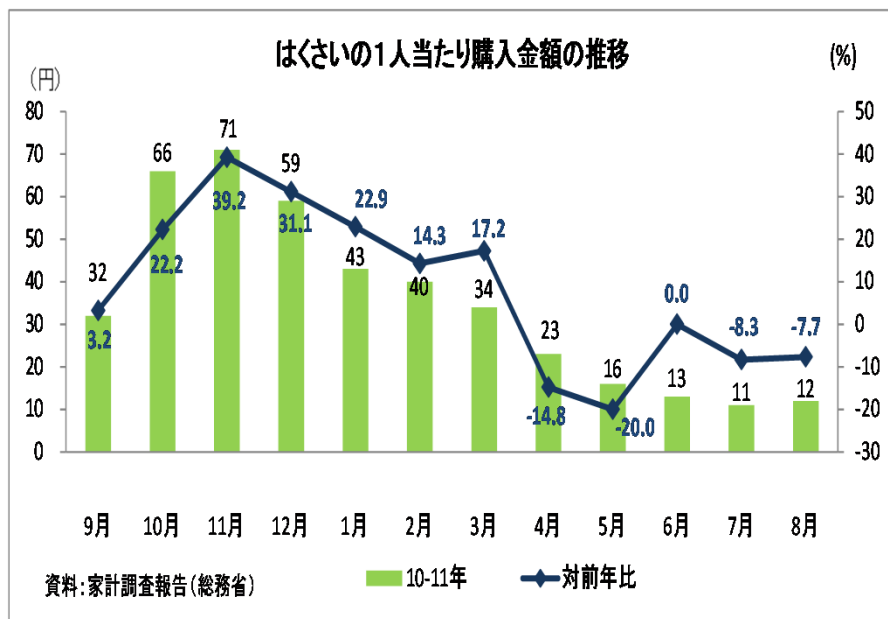
資料: 家計調査報告(総務省)

■ 08-09年 ■ 09-10年 ■ 10-11年

## ② 1人あたり購入金額の推移(家計調査報告)

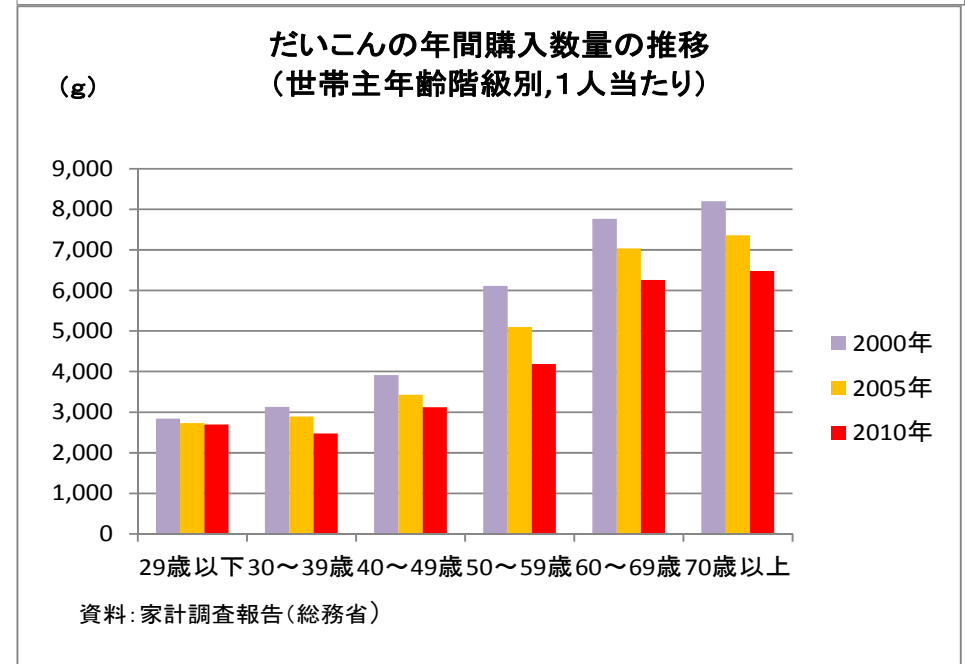
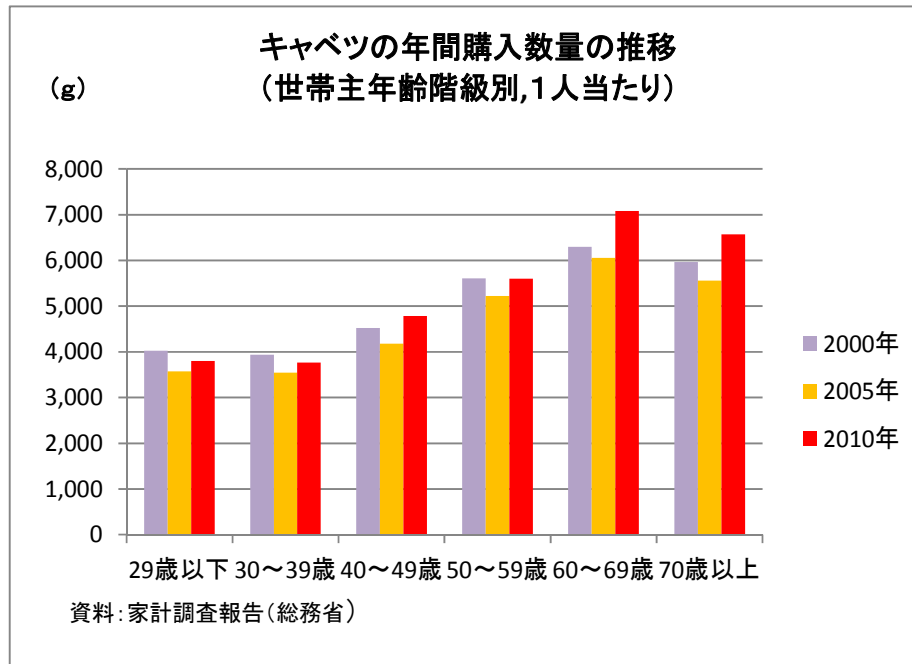
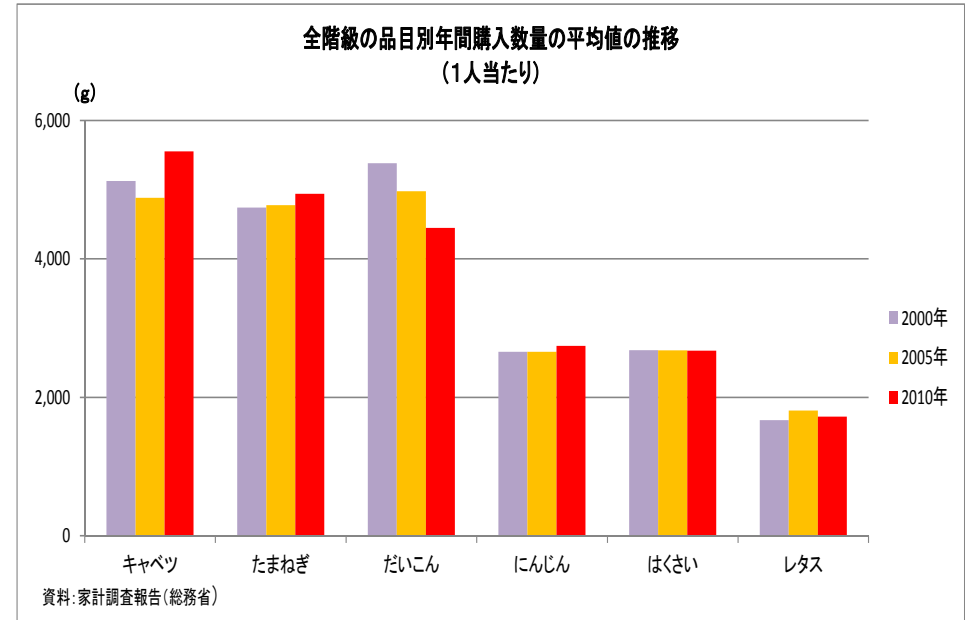
- ・ 生鮮野菜全体の購入金額を見ると、10月から3月までは前年を上回って推移。
- ・ 4月から6月までは、春野菜が高騰した前年を大幅に下回り推移。
- ・ その後、7月に前年を上回るが、8月に再び前年より減少。





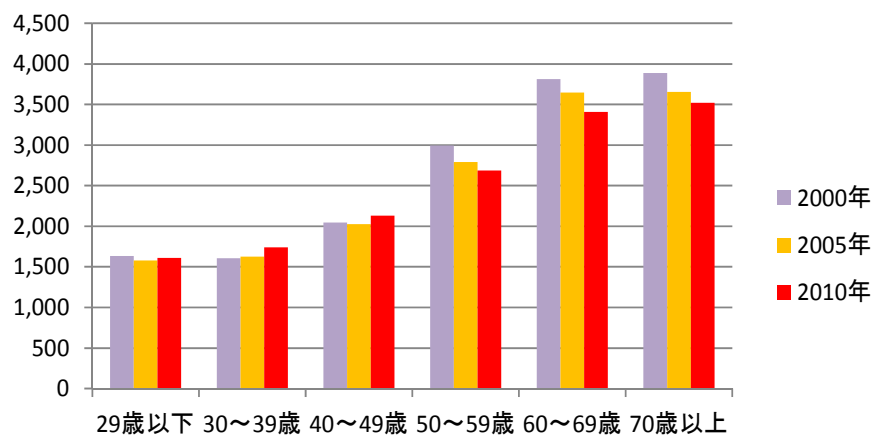
### ③ 品目別年間購入数量の推移(1人当たり、家計調査報告)

- ・ 1人当たり年間購入数量を見ると、全階級平均では、大きな変化がないものが多いが、キャベツは前回を上回り、だいこんについては減少が顕著。



はくさいの年間購入数量の推移  
(世帯主年齢階級別,1人当たり)

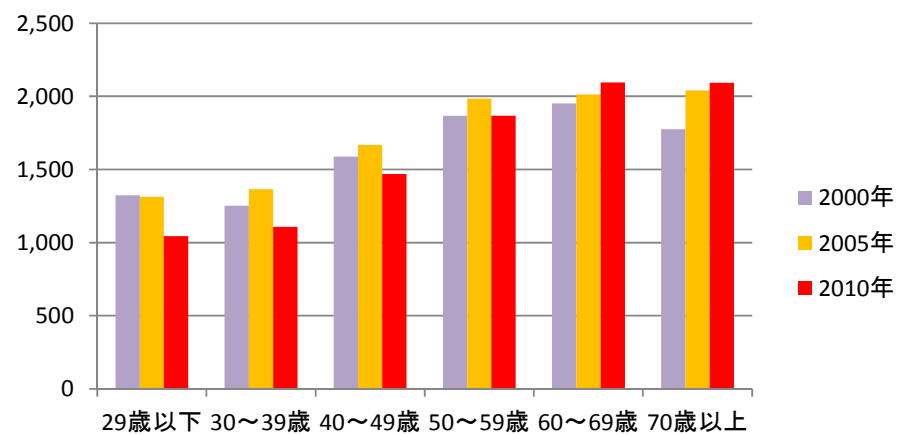
(g)



資料:家計調査報告(総務省)

レタスの年間購入数量の推移  
(世帯主年齢階級別,1人当たり)

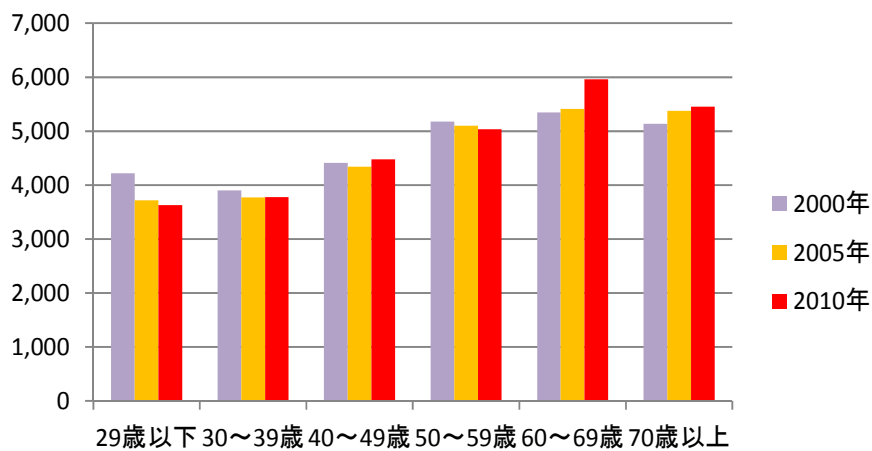
(g)



資料:家計調査報告(総務省)

たまねぎの年間購入数量の推移  
(世帯主年齢階級別,1人当たり)

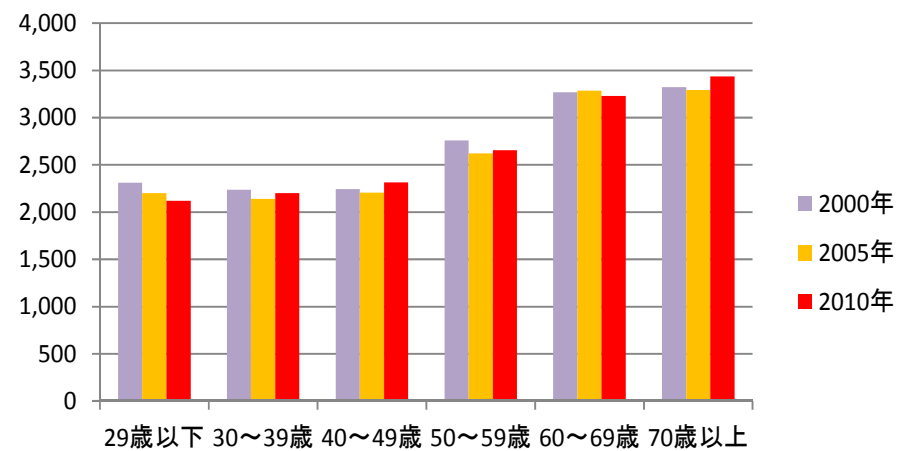
(g)



資料:家計調査報告(総務省)

にんじんの年間購入数量の推移  
(世帯主年齢階級別,1人当たり)

(g)



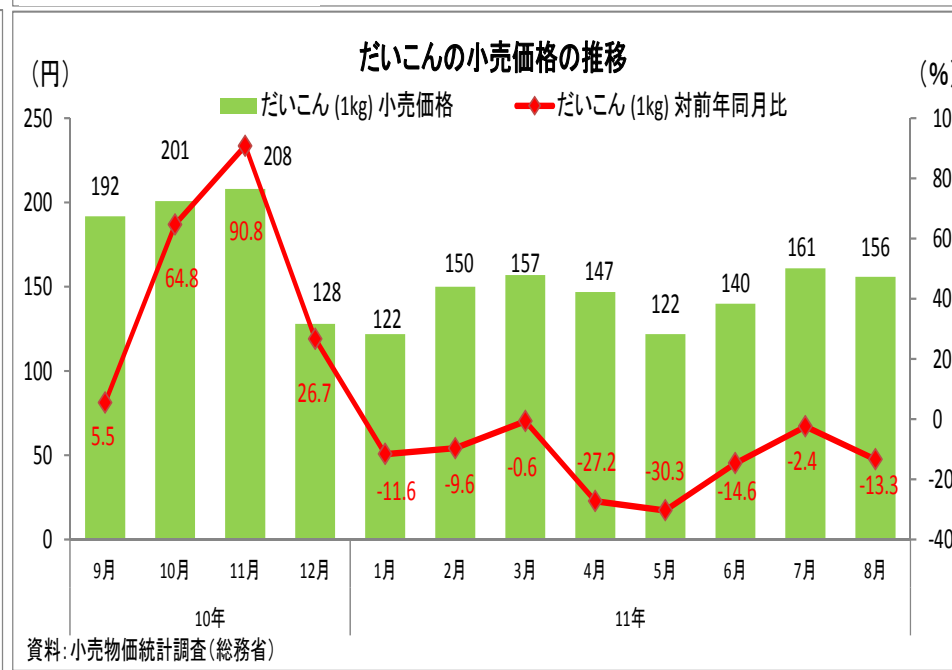
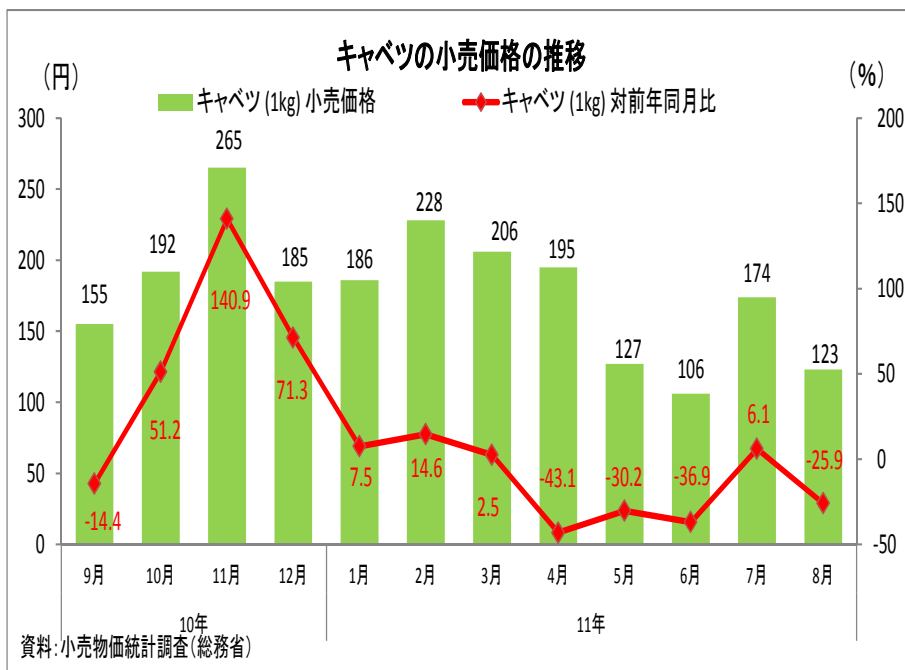
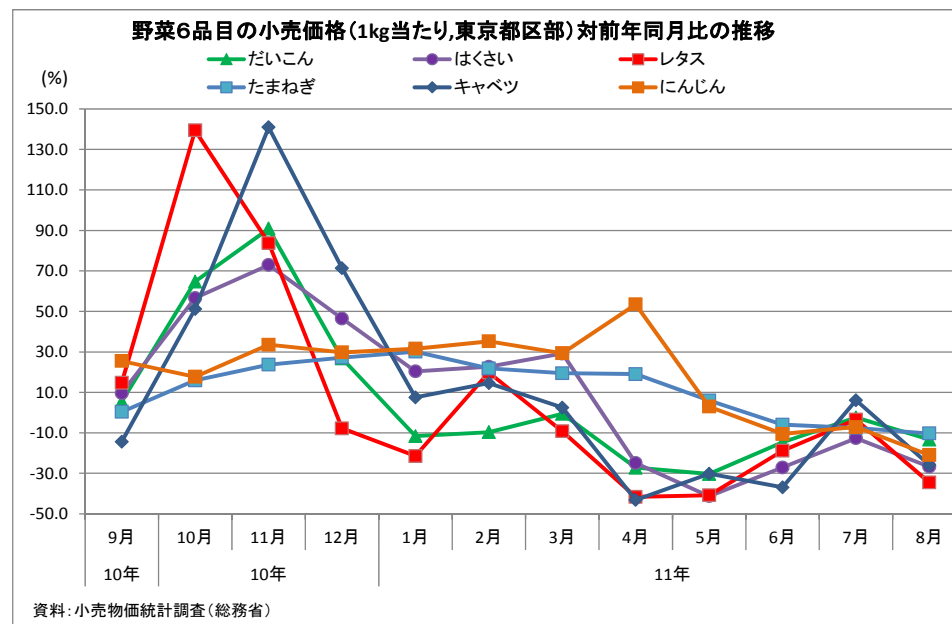
資料:家計調査報告(総務省)

#### ④ 小売価格の推移(東京都区部、小売物価統計調査)

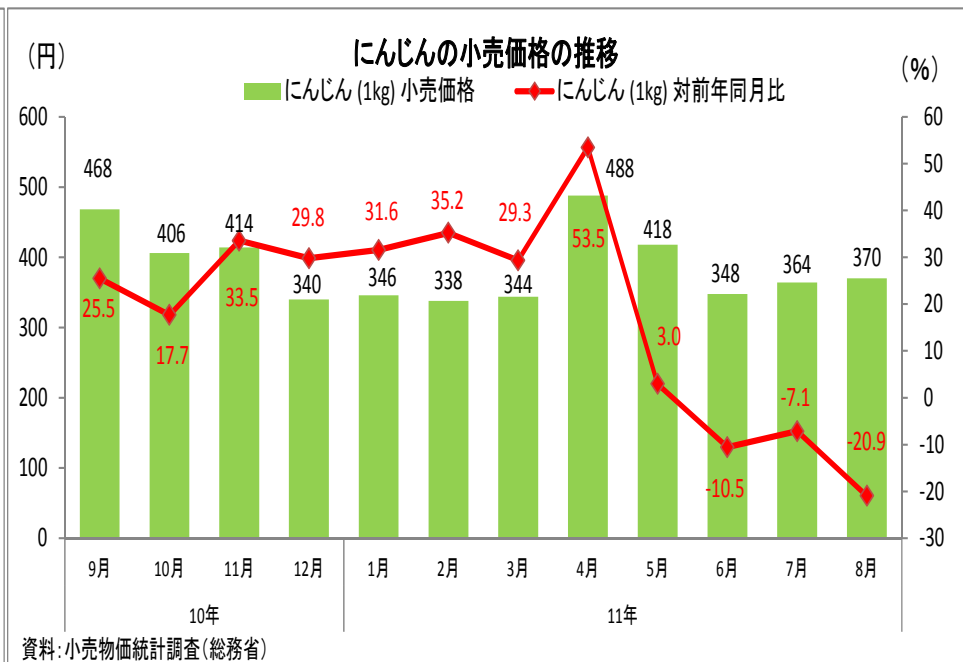
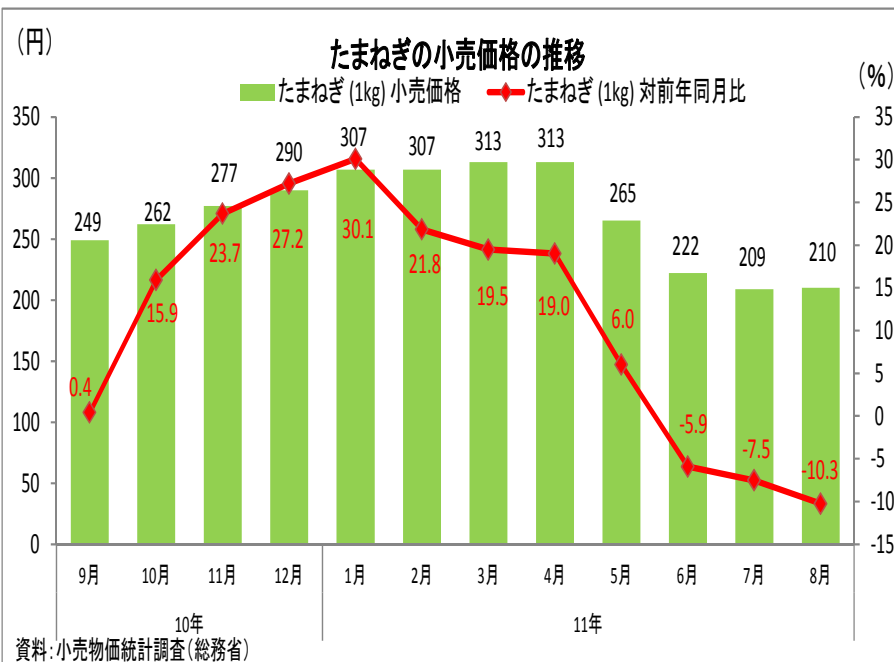
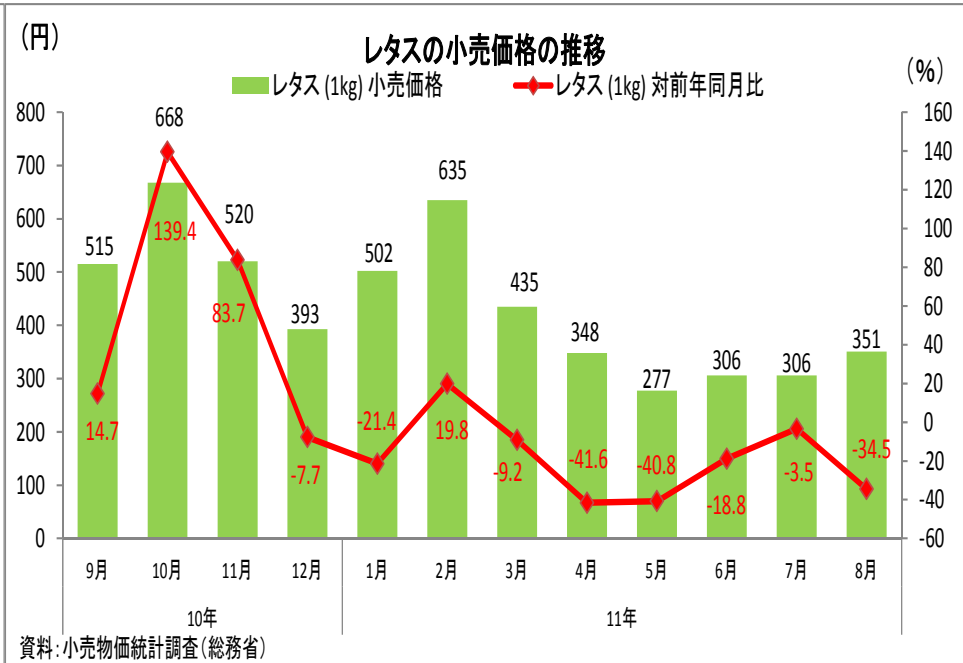
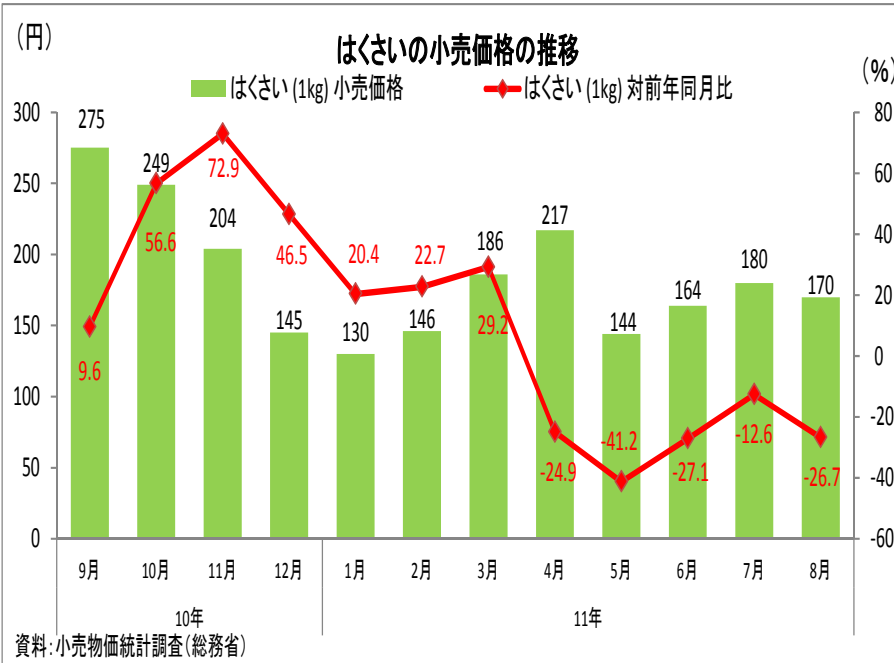
・だいこん、はくさい、レタス、キャベツについては、昨年夏の猛暑の影響を受けて、昨年10月から11月までは高騰したが、12月以降は落ち付いた。4月以降は7月のキャベツを除き前年を下回って推移。

・たまねぎは、2年連続で主産地が天候不順であったことを受け、5月まで前年を上回って推移したが、6月以降佐賀産・兵庫産の豊作を受け、前年を下回って推移。

・にんじんは、主産地の天候不順により、昨年9月以降高値で推移したが、6月以降は前年を下回って推移。





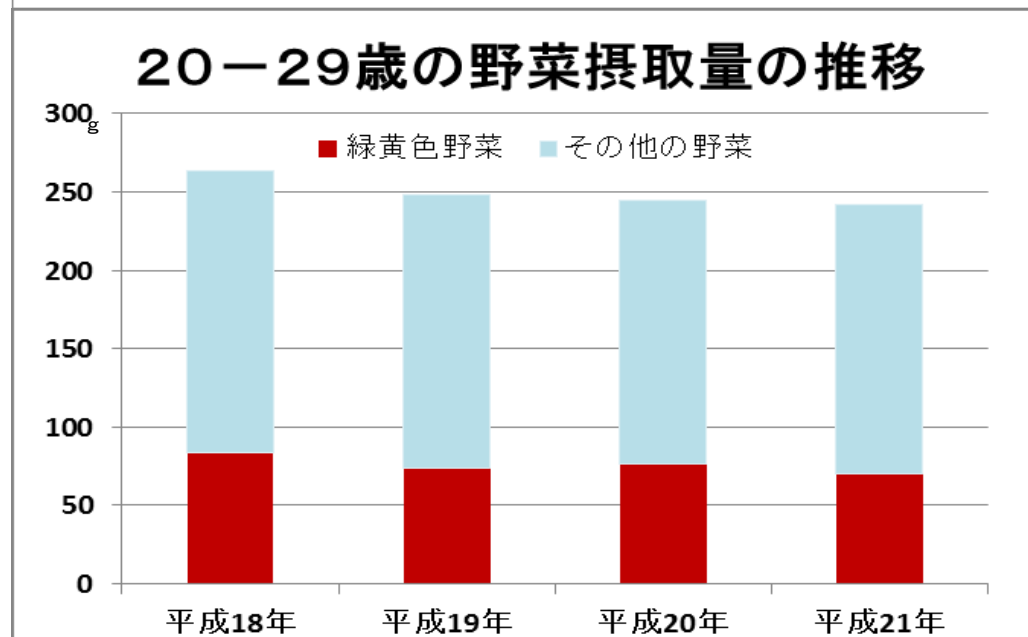
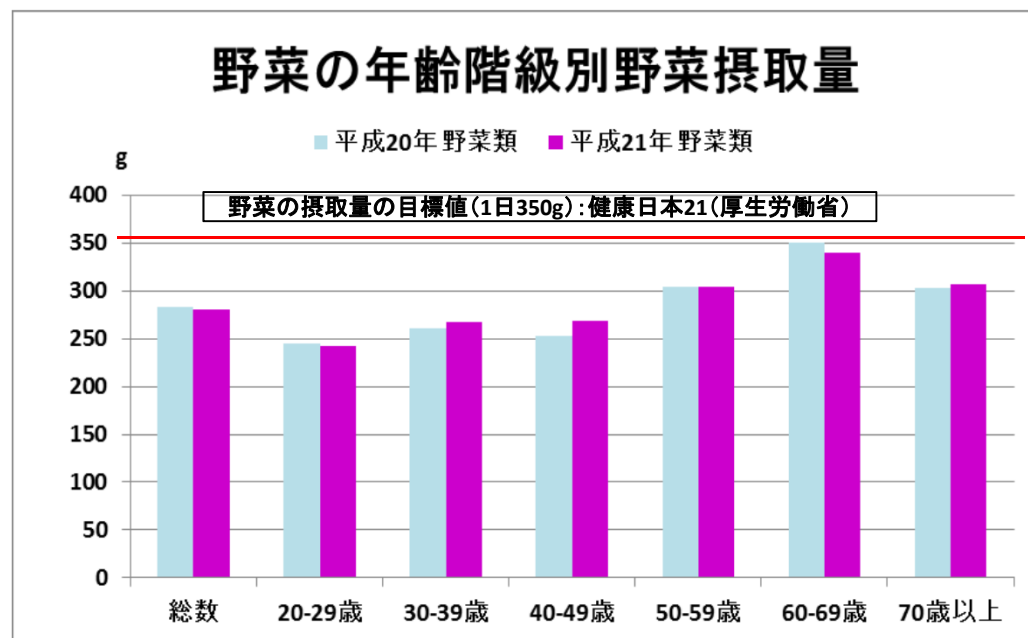


## ⑤ 野菜の年齢階級別摂取量(国民健康・栄養調査)

・平成21年における1人1日当たりの野菜摂取量は前年に比べ、ほぼ横ばいとなっているものの、依然として、20代、30代、40代の摂取量が少ない水準となっている。

・前年との比較で見ると、30代、40代は若干改善のきざしがあるものの、60代で減少している。

・特に摂取量が少ない20代の野菜摂取量は年々減少傾向にある。



## ⑥ 業務用需要の推移

—震災の影響で減退していた外食需要は回復—

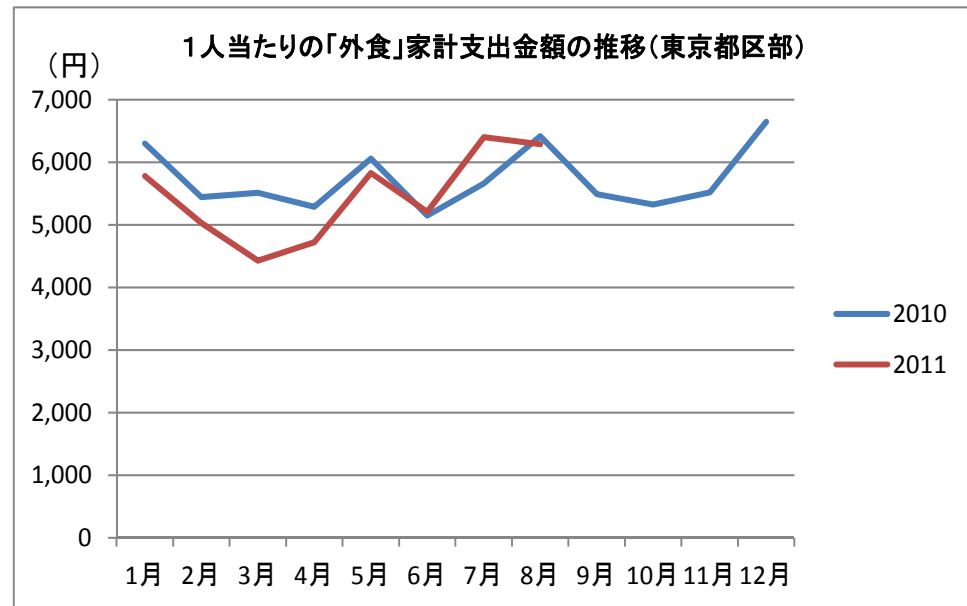
### (ア) 家計調査報告における「外食」の家計支出の推移

●震災等の影響により減退していた1人当たりの「外食」に対する家計支出金額は、5月以降回復基調となったが、8月は前年比98%。

家計調査(東京都区部)

(単位:人、円、%)

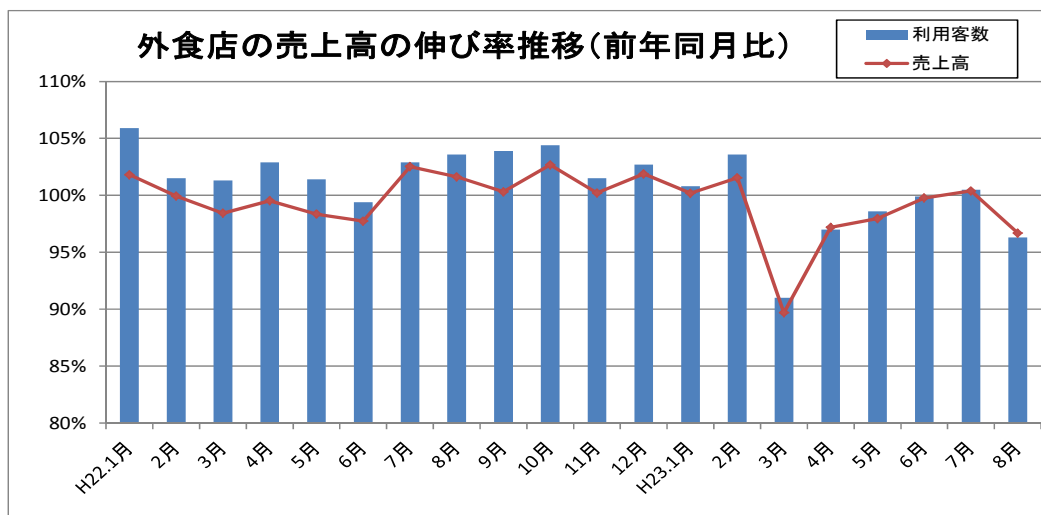
品目分類	H22.8支出金額	H23.8支出金額	対前年同期比
世帯人員	3.04	3.02	—
消費支出	337,737	294,933	87%
食料	80,354	79,724	99%
外食	19,508	18,990	97%
消費支出に占める割合	5.8	6.4	111%
食料に占める割合	24.3	23.8	98%
1人当たり外食支出	6,417	6,288	98%



資料: 総務省:家計調査(二人以上の世帯、東京都区部・全国)

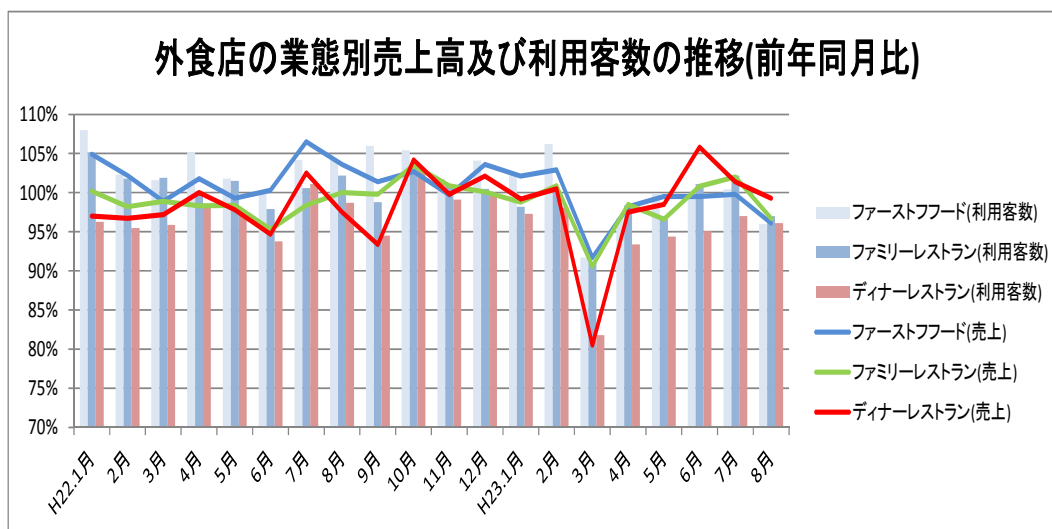
## (イ) 外食店の売上高及び利用客数の推移

●8月の外食店の売上高、利用客数は、ともに前年同月を大きく下回る。



7月の外食店の売上高は前年同月比100.5%、利用客数は同100.4%と前年同月を上回った。

8月の売上高は、単月では天候不順により昨年ほどの気温上昇がなかったこと、夏祭りや花火大会などのイベント自粛、焼肉チェーンの不振などが影響し、同96.7%、利用客は同96.3%となり前年同月を下回っている。



業態別にみると、売上については、震災の影響により特に落ち込んでいたディナーレストランが6月、7月と前年を上回ったが、8月は全ての業態において利用客数及び売上高が減少した。

資料：社団法人日本フードサービス協会「全店時系列データ」

## ⑦ 今後の天気

### 1. 向こう1ヶ月(10月22日～11月21日)

- ・気温は、北・東・西日本では期間の前半は気温が高くなる見込みで、日本海側を中心にかなり高くなる可能性もある。
- ・降水量は、北・東日本の日本海側は平年並みで、西日本の日本海側では平年並みが多く、北・東・西日本の太平洋側は多い見込み。

### 2. 11月～1月

#### ○ 11月

- ・気温は、北・東・西日本では高くなる見込み。
- ・降水量は、北・東日本の日本海側では平年並みで、北・東日本の太平洋側及び西日本では平年並みが多くなる見込み。

#### ○ 12月

- ・気温は、北日本では平年並みか高くなり、東・西日本では平年並みとなる見込み。
- ・降水量は、北日本の日本海側及び東・西日本では平年並みで、北日本の太平洋側では平年並みか多くなる見込み。

#### ○ 1月

- ・気温は、北日本では平年並みで、東・西日本では平年並みか低くなる見込み。
- ・降水量は、北日本では平年並みで、東日本の日本海側は平年並みか多くなり、また西日本の日本海側では多くなり、東・西日本の太平洋側では平年並みか少くなる見込み。

### 3. 12月～2月

- ・気温は、北日本では平年並みが高く、東・西日本では平年並みの見込み。
- ・降水量は、北日本の太平洋側では平年並みが多く、北日本の日本海側及び東・西日本では平年並みの見込み。

### 4. エルニーニョ/ラニーニャ現象

- ・秋から冬にかけてラニーニャ現象が発生する可能性がある。  
(ラニーニャ現象発生時の日本の冬(12～2月)の平均気温は、東・西日本で低い傾向がある。)

出典:「全般1ヶ月予報解説資料(平成23年10月21日気象庁地球環境・海洋部)

「全般3ヶ月予報(11月～1月)解説資料」(平成23年10月25日気象庁地球環境・海洋部)

「全般寒候期(12月～2月)予報解説資料」(平成23年9月22日気象庁地球環境・海洋部)

「エルニーニョ監視速報(No.299)」(平成23年10月11日気象庁地球環境・海洋部)

## (参考)

◎1ヶ月(10月22日～11月21日)予報に見る確率

	気温(%)				降水量(%)			日照時間(%)		
	低	並	高		少	並	多	少	並	多
北日本	10	30	60	日本海側	30	40	30	30	40	30
				太平洋側	20	30	50	40	40	20
東日本	10	30	60	日本海側	30	40	30	30	40	30
				太平洋側	20	30	50	50	30	20
西日本	10	30	60	日本海側	20	40	40	40	40	20
				太平洋側	20	30	50	50	30	20
沖縄・奄美	20	40	40		30	40	30	30	40	30

気温	1週目(%)			2週目(%)			3～4週目(%)		
	低	並	高	低	並	高	低	並	高
北日本	10	20	70	10	30	60	20	40	40
東日本	10	20	70	10	30	60	20	40	40
西日本	10	30	60	10	30	60	20	40	40
沖縄・奄美	40	40	20	20	30	50	20	40	40

◎3ヶ月(11～1月)予報に見る確率

気温	3か月(%)			11月			12月			1月		
	低	並	高	低	並	高	低	並	高	低	並	高
北日本	20	40	40	20	30	50	20	40	40	30	40	30
東日本	20	50	30	20	30	50	30	40	30	40	40	20
西日本	20	50	30	20	30	50	30	40	30	40	40	20
沖縄・奄美	30	40	30	20	40	40	30	40	30	40	40	20

降水量		3か月			11月			12月			1月		
		少	並	多	少	並	多	少	並	多	少	並	多
北日本	日本海側	30	40	30	30	40	30	30	40	30	30	40	30
	太平洋側	20	40	40	20	40	40	20	40	40	30	40	30
東日本	日本海側	20	40	40	30	40	30	30	40	30	20	40	40
	太平洋側	20	40	40	20	40	40	30	40	30	40	40	20
西日本	日本海側	20	40	40	20	40	40	30	40	30	30	30	40
	太平洋側	20	40	40	20	40	40	30	40	30	40	40	20
沖縄・奄美		30	40	30	20	40	40	30	40	30	40	40	20

注:「低 並 高」、「少 並 多」は、それぞれ平年との比較

出典:「全般1ヶ月予報解説資料(平成23年10月22日気象庁地球環境・海洋部)

「全般3ヶ月予報(11月～1月)解説資料」(平成23年10月25日気象庁地球環境・海洋部)

◎ 寒候期予報(12月～2月)に見る確率

		気温 (%)			降水量 (%)			降雪量 (%)		
		低	並	高	少	並	多	少	並	多
北日本	日本海側	20	40	40	30	40	30	30	40	30
	太平洋側	20	40	40	20	40	40			
東日本	日本海側	30	40	30	30	40	30	30	40	30
	太平洋側	30	40	30	30	40	30			
西日本	日本海側	30	40	30	30	40	30	30	40	30
	太平洋側	30	40	30	30	40	30			
沖縄・奄美		40	40	20	40	40	20			

注:「低 並 高」、「少 並 多」は、それぞれ平年との比較

出典:「全般寒候期予報解説資料」(平成23年9月22日気象庁地球環境・海洋部)